



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 株式会社日本動物高度医療センター 上場取引所 東
 コード番号 6039 URL http://www.jarmec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 秀博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石川 隆行 TEL 044-850-1320
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	934	29.9	137	55.2	135	48.2	87	39.4
2022年3月期第1四半期	719	3.0	88	△13.4	91	△9.6	62	△9.6

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 87百万円 (39.4%) 2022年3月期第1四半期 62百万円 (△9.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	37.51	36.70
2022年3月期第1四半期	26.31	25.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,982	2,598	37.2
2022年3月期	6,966	2,509	36.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,598百万円 2022年3月期 2,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,860	29.6	535	21.8	540	22.9	365	27.2	156.88

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社グループは年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	2,436,200株	2022年3月期	2,436,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	109,616株	2022年3月期	109,616株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	2,326,584株	2022年3月期1Q	2,380,653株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
3. 補足情報	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐ中で、持ち直しの動きが見られました。鉱工業生産は、半導体不足や新型コロナウイルス感染拡大による供給制約に、中国のロックダウンの影響が加わり、弱い動きとなりました。設備投資は、製造業を中心に企業収益の改善傾向が続く中、人手不足対応やテレワーク関連投資、デジタル化に向けたソフトウェア投資を中心に持ち直しました。個人消費は、まん延防止等重点措置の終了を受けて、外食・宿泊・娯楽などの対面型サービスを中心に回復しました。

当社グループが属する動物医療業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でペットとの生活に癒しを求める動きが強まり、2021年の新規犬猫飼育頭数は過去9年で最多となり、これまで減少傾向にあった犬猫飼育頭数は微増となりました。また、犬猫の高齢化に伴い、疾病が多様化する中で飼い主の動物医療に対する多様化・高度化要請は高まってきております。

このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組みつつ、日頃の診療活動を通じた一次診療施設とのコミュニケーション強化を継続することによって、動物医療業界における信頼の獲得、認知度の向上と、それに伴う紹介症例数の増加に努めてまいりました。

また、2022年3月に子会社いたしましたテルコム株式会社は、従来通り飼い主や一次診療施設へのサービス提供に努めつつ、当社グループ各社との協力体制構築による経営効率改善を進めております(同社の経営成績は当第1四半期連結累計期間より四半期連結損益計算書に含まれております)。

なお、当社グループが提供する動物の二次診療サービスは急なニーズに応えるものが多いことから、新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響は、比較的軽微でありました。

その結果、初診数(新規に受け入れた症例数)は1,907件(前年同期比7.6%増)、総診療数(初診数と再診数の合計)は7,027件(前年同期比1.0%減)、手術数は572件(前年同期比12.8%増)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は934,812千円(前年同期比29.9%増)、営業利益は137,865千円(前年同期比55.2%増)、経常利益は135,001千円(前年同期比48.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は87,285千円(前年同期比39.4%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,557,559千円となり、前連結会計年度末に比べ17,782千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が92,382千円増加した一方で、商品が21,957千円、前渡金が38,718千円減少したことによるものであります。固定資産は5,425,374千円となり、前連結会計年度末に比べ1,757千円減少いたしました。これは主に減価償却によるものであります。

この結果、総資産は、6,982,934千円となり、前連結会計年度末に比べ16,024千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は967,036千円となり、前連結会計年度末に比べ1,322千円増加いたしました。これは主に未払費用の増加、未払法人税等の支払い及び賞与引当金の減少によるものであります。また、固定負債は3,417,439千円となり、前連結会計年度末に比べ73,833千円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済によるものであります。

この結果、負債合計は、4,384,475千円となり、前連結会計年度末に比べ72,511千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,598,459千円となり、前連結会計年度末に比べ88,535千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の増加87,285千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、2022年5月12日付「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,068,595	1,160,978
売掛金及び契約資産	228,993	241,010
商品	119,070	97,113
原材料及び貯蔵品	9,760	9,636
その他	121,148	55,673
貸倒引当金	△7,790	△6,851
流動資産合計	1,539,777	1,557,559
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,531,803	1,507,801
土地	2,248,337	2,248,337
その他(純額)	927,435	972,428
有形固定資産合計	4,707,576	4,728,567
無形固定資産		
のれん	489,732	477,488
その他	26,362	24,555
無形固定資産合計	516,094	502,044
投資その他の資産	203,462	194,763
固定資産合計	5,427,132	5,425,374
資産合計	6,966,910	6,982,934
負債の部		
流動負債		
買掛金	65,642	62,294
1年内返済予定の長期借入金	546,376	555,925
未払法人税等	88,562	59,748
賞与引当金	79,335	36,421
その他	185,796	252,646
流動負債合計	965,713	967,036
固定負債		
長期借入金	3,375,581	3,319,272
退職給付に係る負債	27,100	27,600
繰延税金負債	25,008	8,434
資産除去債務	40,501	40,612
その他	23,081	21,520
固定負債合計	3,491,273	3,417,439
負債合計	4,456,987	4,384,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	385,500	385,500
資本剰余金	315,717	315,717
利益剰余金	1,994,792	2,083,328
自己株式	△186,086	△186,086
株主資本合計	2,509,923	2,598,459
純資産合計	2,509,923	2,598,459
負債純資産合計	6,966,910	6,982,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	719,787	934,812
売上原価	463,086	576,336
売上総利益	256,700	358,476
販売費及び一般管理費	167,894	220,610
営業利益	88,805	137,865
営業外収益		
受取家賃	5,840	5,840
その他	764	948
営業外収益合計	6,604	6,788
営業外費用		
支払利息	3,239	4,521
資金調達費用	987	880
固定資産除却損	0	4,188
その他	71	62
営業外費用合計	4,297	9,652
経常利益	91,113	135,001
税金等調整前四半期純利益	91,113	135,001
法人税等	28,476	47,716
四半期純利益	62,636	87,285
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,636	87,285

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	62,636	87,285
四半期包括利益	62,636	87,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,636	87,285

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当第1四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

3. 補足説明

当社グループは、動物医療関係事業の単一セグメントであります。つきましては、補足情報として、主要な売上の区分についての販売実績を下記の通り開示いたします。

(単位：千円・%)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	
	売上高	構成比	売上高	構成比
二次診療サービス	580,847	80.7	626,160	67.0
画像診断サービス	135,564	18.8	112,134	12.0
健康管理機器レンタル・販売サービス	—	—	193,763	20.7
その他	3,375	0.5	2,755	0.3
顧客との契約から生じる収益	719,787	100.0	934,812	100.0
外部顧客への売上高	719,787	100.0	934,812	100.0

(注) グループ間の取引については相殺消去しております。